



広川町・福岡県・筑後市・みやま市・八女市・大川市・大牟田市・柳川市・大木町

## 南筑後地区 県・市町合同公売会

だれでも参加できるオークションを、今年は広川町産業展示会館で開催!!

「県下一斉徴収月間」事業の一環として、税の滞納処分で差し押さえた動産を入札で公売します。

- 参加無料、事前申し込み不要
- 公売前に滞納税が完納した出品物は公売を取りやめます。
- 未成年者の入札は参加制限があります。
- 詳細は広川町のホームページをご覧ください。

☎ 税務課 納税係 ☎ 0943-32-1114 (内線 145)

**日時** 平成 30 年 12 月 15 日(土)  
**開場** 13 時  
**入札** 13 時 30 分～ 14 時  
**会場** 広川町産業展示会館 2 階藍彩ホール  
 (広川町大字日吉 1164 番地 6)  
 ※ご来場の際は以下のものをご持参ください。  
 ・公売代金 (購入代金)  
 ・本人確認できるもの (運転免許証など)  
 ・印鑑 (認印可、法人の場合は代表者印)  
 ・委任状 (代理人が入札する場合)

広川での開催は  
6年ぶり!



昨年度の公売会の様子

## 税の作文

八女税務署管内の中学校 11 校 598 編の応募の中から、広川中学校の 3 年生 2 人が入選しました。11 月 15 日(木)には表彰式が行われ、石井茉郁さんが広川町長賞、松村凜さんが広川町教育長賞を受賞しました。社会は私たちの税金で支えられています。皆さんも税について考えてみませんか?

### 税金の正しい使い道とは

広川町長賞 石井茉郁さん

去年の 11 月。飼っていた猫の死が、突然訪れた。あまりの急な別れに、涙が止まらなかつた。大切な命を失うことが、こんなにもつらいことなんだと、私は改めて命の尊さを学んだ。

今年に入って、私はとても気になる CM を見た。「1 年間に保護された犬、猫 11 万何千匹」あの 30 秒という短い時間の中で、私はとても衝撃を受けた。

ある時、私は思い立って、インターネットで調べてみた。関連づいたページを次々と読み進めてみる。すると、犬や猫の殺処分に関するページにたどり着いた。犬・猫殺処分数は、それぞれ 1 万 4 2 4 匹、4 万 5 5 7 4 匹。合計約 5 万匹以上の小さな命が、私達人間の手で殺されている。あなたはこの数字を見て、どう思っただろうか。私は、あまりの多さに驚きを隠せず、申し訳ない気持ちになった。けれども、まずはこの現状をしっかりと受けとめ、この事実を多くの人達に知ってもらおうと思う。

## 主な出品物と見積（最低購買）価格

出品総数約 150 点！ 広川町からは約 30 点を出品します（価格は低く設定されています）。

ゴルフバッグセット  
15,000 円



腕時計  
4,000 円

ホットプレート  
4,000 円



液晶 32 型テレビ / 20,000 円



- 釣り竿とリール / 3,000 円
- ガスファンヒーター / 7,000 円
- ノートパソコン（マウス付き） / 40,000 円
- コーヒー碗皿揃 / 1,000 円
- JCB ギフトカード / 400 円
- トートバッグ / 1,500 円
- バスタオル / 300 円
- アニメフィギュア / 700 円



エレキギター（ケース付き）  
28,000 円



小判（天保通寶）  
2,000 円

※出品物は滞納者宅などへの捜索（家宅訪問による強制動産差押）により取り立てたものです。  
※名称やブランド名、作者などの記載は、本物であることを保障するものではありません。  
※電化製品などの各記載は、動作や品質を保証するものではありません。  
※未使用であっても中古品として扱います。経年劣化や汚れ、傷などがある場合があります。  
※返品はできません。現物をよくご確認の上、入札にご参加ください。

しかし、その殺処分と、私達が納める税金にはどういった関係があるのだろうか。私は以前、学校の「租税教室」で、税金の大切さを学んだ。例えば、日頃私達が、嫌々支払っている消費税にも、実は重要な役割があり、私達の健康を守るための医療施設の設備や、警察署・消防署による公共サービスなど、税金は私達にとって必要不可欠なものだった。けれど、保健所や動物愛護センターなどの建設費、犬や猫を殺すための道具の費用は税金で賄われている。私が見た記事によると、犬や猫を少しでも安楽死させてあげるために、新しい道具の開発も行われており、まるで、私達が納めている税は、犬や猫を殺すための凶器に変えられているかのようだ。私達がのぞんでいる税金の使い道は、本当にこうなのだろうか。これは、税金の使い道として正しいのだろうか。飼い主のいない犬や猫が少しでも楽しく幸せに生きていけるようにするために、税金を使うことはできないのだろうか。「基本的人權の尊重」ともあるように、犬や猫であっても、人間とは何の変わりもない大切な命だ。小さな小さな動物の命も大切にすべきではないだろうか。納税の義務がある、この世の中の一員として、自分達が納める税金をもっともつと有意義に使うってほしいと、私は心から思う。

そして、税金は私達が世の中に貢献することができる一つの方法である。だからこそ、私は税金を通して、もっとこの地球上を豊かにしたい。人間や動物、自然の中の植物、地球上のすべての命に幸せを与えてくれることを信じて、これからも税金を大切にしようと思っている。